

～～第8649回～～

彦根城・安土城

～H31.3.24～

一昨日は春を思わせる暖かい日だったのに、昨夜から御殿場方面では積雪が有り薄ら寒い朝で、各地から桜の開花情報がちらほら聞ける中、目的地の桜が開花するかなと期待しつつ出発した。高速道路も順調に進みほぼ予定時刻の9:00前に彦根城の駐車場に着いた。まだ早いせいか観光客も少なく、天主や櫓、二の丸、三の丸を見て玄宮園に向かう。ここは歴代の城主が船を浮かべて優雅に時を過ごした庭園、また井伊直弼が部屋住みをした埋木舎を覗いて佐和山城へ向かう。城下町を抜けて、浜松の分院となる龍潭寺の横から佐和山城址のある佐和山へ登る。嘗ての井伊家にまつわる人々が大勢眠る墓地の中を抜け、里山独特の粘土質の滑りやすい山道を注意しながら一步一步登る。およそ30分程度で城跡に着く、そこには若干の平坦部が有り、関ヶ原の戦いで敗れた石田三成の死後、ここに井伊直政が入城し、彦根城を築城するまでの僅かな間居住する。その子、直継が彦根城を完成させ転封すると、佐和山城は廃城となり井伊の手によって徹底的に破壊されたため、城跡を示すものはほとんど見当たらなかった。山頂からは近江の平野と彦根城、奥には広大な琵琶湖が望め素晴らしい眺めでした。下山後、バスに乗り安土城址へと向かう。織田信長が建てた安土城は山城で防御のため階段が多くかつ段差が大きく作られており、天守台にたどり着くまでかなりハードだった。下山後、信長の館でかつて安土城の天守台にあったであろう、金箔で飾られた原寸大の天主の五層、六層の部分の展示物の見学と再現VTRを見た。計画した時間よりも遅くなり残念ながら観音寺城の訪問は諦め次の機会に回すことにし帰路についた。今回は偶然来年の大河ドラマ明智光秀のゆかりの地や、前日テレビで取り上げられた日本の城物語の為か、兎に角どこの城も以前に比べ多くの観光客で賑わっていました。桜の開花には少し早かったが天気にも恵まれ楽しい山行と歴史巡りでした。

参加者：12名（島田）

天気：曇りのち晴れ

地図：彦根東部・八日市

コースタイム：島田 600＝彦根城 855-1045…龍潭寺 1115…佐和山城址 1140-1230＝安土城址 1300-1400…信長の館 1425-1535＝島田 1940

記録：島田支部 H・M

彦根城前でひこにゃんと一緒に。



金箔で輝く安土城天主。

